

駒場苑 みちくさ

ご利用者の笑顔目指して バージョンアップ!



中村施設長の 年中夢求



「高齢ブロック化」～ご利用者の笑顔を増やす手段～

駒場苑は、愛隣会という法人が経営しています。法人はその他に障がいや児童、保育関係の施設も経営しており、法人として一元的に管理するのが難しい状況にありました。

そこで、各分野毎にブロック化をしてサービス、人事、経営、組織の一体化を図ることを進めています。

では、今までの「連携」と「ブロック化」は何が違うのでしょうか？ サービスでは、ブロックになることでご利用者にとってどのサービスを利用することが一番か？という基準に基づきブロック長が最終的な判断を行います。結果、白寿荘のご利用者をデイサービスにお連れする、認知症が進んだ方にはグループホーム入所を進める等ご利用者主体のサービス提供が可能になります。

人事についても特養に応募に来た方で条件が合わない場合、今までならお断りしていましたが、ブロック内の他事業所の状況を共有しておけることで、訪問介護のヘルパーとして採用（その逆もあります）等が可能になりました。その結果、5月1日現在で全事業体欠員ゼロを達成しています。

経営について駒場苑は厳しい状況です。今年度介護報酬の改定で単価が下がったことによって更に厳しくなることが予想されます。しかし措置施設や訪問介護、デイサービスなど在宅系を中心に収益率の高い事業所もあり、ブロック全体での収支を向上させることが可能となります。

組織的にも氷川ホーム（都市型軽費老人ホーム）の設立とその後の経営についても高齢ブロック全体としてサポートしたり、介護保険事業所の事務の一括管理や備品の共有等効率的な組織運営が可能になってきています。

つまり、ブロック化とは各事業所が一つになることで強みを伸ばし、課題を補完し合う事で、単独事業では限界だった事を可能にご利用者の笑顔が増える事を目的にしています。

未だ不十分ではありますが、今後検討を重ねて結果を出してまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



坂野補佐の はつらつ通信



「駒場苑スタンダード」～介護百人一首～

今年度特養では「7つのゼロへの挑戦」を「7つのゼロネクスト」と名前を変え、内容もバージョンアップ！さらなる高みを目指して頑張っています。（詳しくは元気プロジェクトを御覧下さい）

それと平行する形で、駒場苑全体として新たな取り組みを始めました。

今年度、総合ケアセンター駒場苑は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・ケアプランセンターに訪問介護ステーションも加わり6事業になりました。事業も職員も増えていく中、ある一定の共通認識を持ってサービス・ケアにあたる必要が出てきました。そこで、駒場苑グループ全体に共通する基準『駒場苑スタンダード』を創っていかうと考えています。その一つとして『駒場苑オリジナル介護百人一首』を創りました。介護百人一首とは、駒場苑の基準としたい事項を五七五七七の100首の短歌にしたものです。その短歌を掲示したり、研修や会議で共有するのはもちろん、年に1回百人一首大会を開き、楽しみながら基準を学んでいくことにしています。

玄関の掲示板やエレベーターの前の掲示板等に貼ってありますので、ご来苑の際は是非ご覧下さい！ 駒場苑グループは、このように全事業所で共通の意識や目標を持って向上していける組織になれるよう、これからも前進していきますので、今年度もよろしくお願い致します。

駒場苑オリジナル「介護百人一首」

駒場苑が大事にする介護理論・技術・社会人マナー等が読み込まれています。100首覚えれば駒場苑の目指す介護の全てがわかります。いくつかご紹介します。



- 好きなものを食べて飲んでの人生を 守ってあげましょ最期まで
- 食事はね椅子に座って食べるとね 姿勢安定 生活リハビリ
- 立ってないとトイレに行けない なんて嘘さぼるな介護奪うな誇り
- 行動を制限すれば混乱し 自由に過ごせば心おだやか
- 最期までその人らしい生活を するためにいる私たちがかな



チャリティ映画会のお知らせ



ぼくたちの家族

数々の賞を総なめにした「舟を編む」の石井裕也監督が《家族》に向き合い、全力で挑んだ最高傑作！突然告げられたお母さんの余命。そして今、ぼくたちは動き出す…。

2015年6月2日（火）18：00開場 18：30開演
会場：『きゅりあん』（大井町駅前）
チケット1,500円

お買い求めは事務所まで。お電話でも承ります。ご協力よろしくお願い致します。